

大戦略論——国際秩序をめぐる戦いと日本

4つのテーマ：（１）～（３）大戦略とは何か &（４）日本の課題

- 1) **大戦略の全体像：** 国際社会において大国間で展開される政治秩序をめぐる権力闘争（秩序戦）に勝利するための長期的・体系的な政治計画（設計図・メニュー）
（図表 1, p. 1: 図 1）
p. 2: 表 1）

日本にとって：自由主義国際秩序を守るという戦略目的とそのための諸手段からなる体系

- 2) **陣営間の闘争：** 長期持久戦（含グレーゾーン状況）
（図表 1, p. 2: 図 2） 地域レベルでの勢力圏闘争と世界レベルでの制度・正統性闘争
p. 3: 表 2） 経済相互依存関係：非対称的脆弱性をめぐる確執
国際公共財（例：地球温暖化）に関しては協力

- 3) **ジオストラテジーと「包囲網構築作戦 v s 包囲網突破戦略」：** チェスではなくて碁
（図表 1, pp. 6-8 & 図表 2）

- 4) 現代日本にとっての課題例：図表 1, p. 5 を参照されたし。以下は補足点。

4. 1) インフラレベル

- ・ 大戦略的大局観、戦略リテラシーの組織的・制度的な涵養（とりわけ政府・政党レベル）
- ・ インテリジェンス機能（ならびに諸制度）の集中的強化
- ・ 国力増強（とりわけサイバー部門）ならびにイノベーション促進

4. 2) 政策レベル

- ・ 包囲網強化（サラミ戦略の活用を含む）の一方「弱い鎖」にならない（含「不条理事態」）
- ・ イデオロギー戦：日本ならではの自由民主主義概念を発信（西洋発信のものとは異なり他のアジア人の耳にとどくもの）
- ・ 複合型（含：金融等々）グレーゾーン危機への対応・準備（シュミレーション）

おわりに